



平和・人権・民主主義を考える 西濃憲法集会 2019

講演: あたらしい戦前 ～よみがえる戦時体制に 抗するために～



講師: 荻野富士夫氏 (小樽商科大学名誉教授)

報告: かなでの沖縄だより (報告者: ようこそ先輩 20歳の大学生)

とき: **5月3日** (憲法記念日) **13時30分** 開始
(開場 13時・16時10分終了予定)

ところ: **大垣市情報工房スィンクホール**

入場無料 託児あり (主催者へお申込み下さい)



知事日米政府	米月1日に
114,933	434,275
52,682	349,748

～呼びかけ～

いま日本社会は「戦後」でしょうか、それとも新しい「戦前」でしょうか。

国際紛争を武力によって解決することを放棄したはずなのに、武力行使＝戦争が政治的手法の1つとして認められつつあるのではないかと、そんな思いがよぎります。日本社会の変化が危惧されます。

第2次世界大戦前、日本はどのように戦時体制を作っていたのかを学び直す必要があるのではないのでしょうか。

自民党は2018年の通常国会でも臨時国会でも、市民と野党の奮闘によって、自民党改憲案の審議にすら入れませんでした。しかし、安倍首相は「9条に自衛隊を明記して違憲論争に終止符を打とう」と2月の自民党大会で決意を表明しています。

5月3日の憲法記念日までに運動を大きく広げて通常国会での改憲発議を絶対許さない、そして参議院選挙で改憲勢力の3分の2の議席を許さず、安倍改憲に終止符を打ちましょう。

「西濃憲法集会 2019」を私たち1人ひとりが自ら考え行動し、安倍改憲 NO! の声をあげる総決起の日にしましょう。

西濃憲法集会 2019 にぜひご参加ください。

～プログラム～

開場 13時00分

第一部 13時30分～

- 1) プレ企画報告
- 2) 沖縄報告

「かなでの沖縄だより」

第二部 14時20分～

記念講演

あたらしい戦前

～よみがえる戦時体制に抗するために～

閉会 16時10分 (予定)

講師紹介



【プロフィール】

荻野富士夫 (おぎの ふじお)

1953年埼玉県久喜市生まれ。

1975年早稲田大学文学部卒業。

専攻は日本近現代史。

研究分野は戦前・戦後日本の治安体制、初期社会主義思想論。

所属学会は、歴史学研究会、日本史研究会、歴史科学協議会、民衆史研究会、初期社会主義研究会、日本社会文学会

【著書】

『特高警察』『思想検事』(岩波新書)

『小林多喜二の手紙』(岩波文庫)

『「戦意」の推移』(校倉書房)

『日本憲兵史』(日本経済評論社)

他著作多数

～かなでの沖縄だより～
小田奏 (おだ かなで) さん

岐阜県各務原市出身

沖縄県在住 沖縄県立芸術大学在学中

中学3年から大垣のようこそ先輩課外授業の活動に参加

中学3年の8月から各務原市のフリーペーパー「にらめっこ」に記事を連載中



会場 (大垣市小野4丁目35-10 TEL 0584-75-7000)

※集会への協賛金をお願いしています。「西濃憲法集会」は、毎年入場無料で開催し、運営費用は、運動の主旨に賛同して下さる多くの個人や団体の協賛金でまかなっています。多くの方に、ご参加・ご協力(協賛、運営への協力、参加よびかけ)下さいますようお願いいたします。

【郵便振替口座】 番号 00870-6-101487 加入者名 近藤ゆり子

主催「平和・人権・民主主義を考える」西濃憲法集会2019実行委員会

連絡先 大垣市室町2-25 弁護士法人ぎふコロボ西濃法律事務所 TEL 0584-81-5105 seinolaw@nifty.com